

令和6年第3回鋸南町議会定例会議事日程〔総括表〕

令和6年3月定例会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 一般質問〔7名〕
- 9番 大塚 昇 議員
  - 5番 秋山 柳三 議員
  - 2番 篠宮 真樹 議員
  - 1番 東 愛乃 議員
  - 3番 中村 基 議員
  - 6番 笹生 あすか 議員
  - 8番 竹田 和明 議員
- 日程第5 議案第1号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 日程第6 議案第2号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第7 議案第3号 第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第8 議案第4号 第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第9 議案第5号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第10 議案第6号 鋸南町保健福祉総合センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第11 議案第7号 鋸南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第12 議案第8号 鋸南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第13 議案第9号 鋸南町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第14 議案第10号 鋸南町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

日程第15	議案第11号	鋸南町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
日程第16	議案第12号	鋸南町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
日程第17	議案第13号	鋸南町漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について
日程第18	議案第14号	鋸南町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
日程第19	議案第15号	令和5年度鋸南町一般会計補正予算(第6号)について
日程第20	議案第16号	令和5年度鋸南町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
日程第21	議案第17号	令和5年度鋸南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
日程第22	議案第18号	令和5年度鋸南町介護保険特別会計補正予算(第3号)について
日程第23	議案第19号	令和5年度鋸南町鋸南病院事業会計補正予算(第2号)について
日程第24	議案第20号	令和5年度鋸南町水道事業会計補正予算(第3号)について
日程第25	議案第21号	令和6年度鋸南町一般会計予算について
日程第26	議案第22号	令和6年度鋸南町国民健康保険特別会計予算について
日程第27	議案第23号	令和6年度鋸南町後期高齢者医療特別会計予算について
日程第28	議案第24号	令和6年度鋸南町介護保険特別会計予算について
日程第29	議案第25号	令和6年度鋸南町鋸南病院事業会計予算について
日程第30	議案第26号	令和6年度鋸南町水道事業会計予算について

令和6年第3回鋸南町議会定例会会期日程表（案）

自3月5日（火） 至3月15日（金）

会期	月日	曜日	時間	説明
第1日	3月5日	火	午前10時	開 会 会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、一般質問（4名）  散 会
第2日	3月6日	水	午前10時	開 議 一般質問（3名） 議案第1号から議案第14号の上程、説明、質疑、討論、採決  散 会
第3日	3月7日	木	午前10時	開 議 議案第15号から議案第20号の上程、説明、質疑、討論、採決 議案第21号から議案第26号の上程、説明  散 会
第4日	3月8日	金		休会（議案調査のため）
第5日	3月9日	土		休会
第6日	3月10日	日		休会
第7日	3月11日	月		休会（議案調査のため）
第8日	3月12日	火		休会（議案調査のため）
第9日	3月13日	水		休会（議案調査のため）
第10日	3月14日	木		休会（議案調査のため）
第11日	3月15日	金	午後2時	開 議 議案第21号から議案第26号の質疑、討論、採決  閉 会

# 一 般 質 問 一 覧 表

令和6年第3回鋸南町議会定例会

通告順	質 問 要 旨	質 問 者	答 弁 者
1	<p><b>1. 政府クラウドへの鋸南町の対応は</b></p> <p>政府クラウドは政府・中央省庁や市町村などが利用する共通の情報システム基盤で、インターネットを通じてデータを出し入れできるクラウドサービスを使って整備するとして、令和3年度から段階的な移行を経て、令和7年度末には、原則すべての地方自治体の基幹業務システム（住民基本台帳・戸籍・国民年金・住民税など20分野の業務）が政府クラウドに移行される計画である。</p> <p>また、今後は独立行政法人、準公共分野（健康・医療・介護・教育・防災など）等の情報システムについても政府クラウドを活用することが検討されている。</p> <p>当町について、以下の質問をする。</p> <p>① 政府クラウドへの概要は、どのように捉えているか。また、何をどのようにするかの方針・目標或いは県の指導は。</p> <p>② 庁内での態勢は。</p> <p>③ 進捗状況と完遂時期は。</p> <p>④ 当町のような小さな自治体で、選定や業務委託・更新事業における費用関係の課題を、どのように捉えているか。</p>	大塚 昇	町 長
2	<p><b>1. 地域における防災の対策について</b></p> <p>昨年は関東大震災より100年目にあたる年でした。地震のサイクルからみても100年周期説というものがありまして、近い将来必ずあるものと心得ておかねばなりません。</p> <p>当町は、関東大震災においても甚大な被害を受け、今後発生が予想される南海トラフ地震に対しても対策推進地域に指定されております。</p> <p>対岸の三浦半島には30年以内に大きな地震を発生させる危険性の高い活断層もあり、防災対策整備は重要な課題であると痛感しております。</p> <p>そのような中で、私は微力ながら、昨年より防</p>	秋山柳三	町 長

	<p>災対策監にご協力をお願いして各地域において地震対策の講演を行っております。地域住民の防災意識を高めなければならないと思った次第であります。</p> <p>そこで5点の質問をいたします。</p> <p>① 住民の防災意識を高めるための町の考え方を伺います。</p> <p>② 地震等、突発的災害発生時には車での避難はよくないとされていますが、高齢者や要支援者は自主避難が難しい。そういう方の避難について伺います。</p> <p>③ 防災備蓄品の管理、及び、運用状況について伺います。</p> <p>④ 講演を行ってみて、あるいは防災訓練に参加して気づいたことですが、災害時を想定して具体性のある防災訓練でなくてはなりません。そこで今後の防災訓練における町の考え方を伺います。</p> <p>⑤ 総合計画の中に災害時における情報収集、伝達機能の充実とありますが、具体的にはどのように全住民対象に効率よく伝えるのか。</p>		
3	<p><b>1. 人口減少と働く場所、雇用の関係性について</b></p> <p>鋸南町は、この10年間でかなりの勢いで人口が減少していると感じる。</p> <p>これは、先進国と呼ばれている国も減少傾向にありますし、日本の地方自治体の殆どが減少傾向にあると思います。</p> <p>人口減少には出生率の低下や様々な要因があると思いますが、鋸南町においては、町民の方々から働く場所が少ないから町外に出て行ってしまうということをよく耳にします。</p> <p>そこで質問します。</p> <p>① 働く場所と人口減少は関係しているとの認識はありますか。</p> <p>② 働く場所や企業などの誘致活動は行っていますか。</p> <p>③ 鋸南町で起業する際の、町独自の支援等がありますか。</p>	篠宮真樹	町長

	④ 鋸南町の雇用を増やす取り組みは行っていますか。		
4	<p><b>1. 長期欠席と子どもの居場所づくりについて</b></p> <p>千葉県内の長期欠席児童生徒は急増し、2022年度は過去最高の12,082人。そのうち小学生は4,600人で、前年度の3,583人1,017人増加し、全児童に対する割合は1.53%、中学生は7,482人で、前年度の6,368人より1,114人増加し、全児童に対する割合は5.09%でした。</p> <p>長期欠席が社会問題となる中、2016年に教育機会確保法が制定され、すべての子どもが安心して通える学校づくりの大切さ、しかし学校に通うことだけを良しとするのではなく、子どもにも休養が必要、そして不登校になっても教育を受けられる環境整備を、ということが法律に明記されました。</p> <p>鋸南町においても、長期欠席や長期欠席傾向にある児童生徒が数名いますが、学校に通えない子どもも含めて、すべての子ども一人一人が毎日を幸せに送ってほしい、どの子ども未来への希望をあきらめないでほしい、そのために学校や行政、私たち大人はできる限りのことをしなければならないと思っています。</p> <p>そこで、以下の点について質問します。</p> <p>① 本町の小中学校における長期欠席児童生徒の現状と取組状況はどうか。</p> <p>② 長期欠席傾向が見られた児童生徒に対し、どのような対応を行っているか。</p> <p>③ 学校でも家庭でもない子どもたちの居場所「第3の居場所」はあるか。</p>	東 愛 乃	教育長
5	<p><b>1. 鋸南町公共交通のあり方について</b></p> <p>国内同様、千葉県では一部都市部周辺を除き、人口減少と高齢化・過疎化が進んでおり、中でも鋸南町のその割合は加速しています。</p> <p>75歳以上の後期高齢者率は、約10年前の2015年23%（総人口8,022人）でしたが、</p>	中 村 基	町 長

現在は31% (6,837人)、5年後35% (5,500人)、20年後の2045年には38% (3,430人 現在比△40% 65歳以上の高齢化率59%) と、人口は半減、高齢者の大半は75歳以上の状態が予測されています。(人口動態統計・将来推計人口)

残念ながら少子化が進む環境下では、過疎化・高齢化を前提に、それに適応した地域づくり、環境づくりを、時間の変化と共に形を変えながら作り上げていく必要があると考えます。

当町では、鋸南町総合計画の基本目標4、「利便性の高い生活しやすいまちづくり」を実現の為、昨年10月より「デマンド交通」を実験導入し、従来の循環バスに代わる新たな交通手段を試みていることは、将来を考えた施策であり、町民の一人として心から感謝いたします

一方、10月から4か月間の実験の結果、循環バスと比べ、思ったよりも利用者数が少なく、且つ増加が見られないと云う現実があります。

若しこのままであれば、財政負担にも影響するばかりか、循環バス利用者よりも少ないと云うことは、即ちバスを利用していた方たちの足を奪ってしまう結果ともならないか、と懸念しております。

全国でも切替えに伴う同様の失敗事例が多数あり、近隣3市も導入までに長い時間を要しながらも、その評価も分かれているところでもあります。

そこで、鋸南町の、現時点そして将来の交通手段のあり方を分けて再度検討する必要があるのではないか。その上で、「ちいさな町だからできるきめ細やかな」「住民参画型」の「時代と共に変化可能な、公共交通ネットワーク」の仕組みを官民協働で作り上げていく必要があるのではないか、と考えます。

そこで以下3点について質問します。

- ① デマンド交通の利用者数が増加しない現状に対して、導入前の説明会での参加者の声、導入後の利用者の声、そして今回のアンケートの結果から、どのように分析し、今後どのような対

	<p>応を考えていますか。</p> <p>② 実証実験後、循環バスに替え、デマンド交通への切替の場合の判断基準はありますか。</p> <p>③ 高齢化、過疎化が進む中、現在と将来の鋸南町の公共交通体系をどのように考えていますか。</p>		
6	<p><b>1. 防災対策について</b></p> <p>能登半島地震の発生から2ヶ月が経過し、報道も減ってきているが、今もなお、多くの方々が避難所等での生活を余儀なくされています。</p> <p>連日、被災された各自治体の首長が現状や課題を発信されています。自助共助ではどうにもならない大規模災害への対応について、改めて見直し、アップデートしていく必要があると考えます。</p> <p>そこで、4点質問します。</p> <p>① 能登半島地震の発生後、町では防災対策の見直しなどの検討はしたか。</p> <p>② 各地区に避難所を設置するなど、コミュニティ単位での避難生活が注目されているが、町はどのように認識し検討しているか。</p> <p>③ ドローンを使用するの支援も必要と考えるが、免許取得のための支援制度の考えはあるか。</p> <p>④ 防災備蓄品の衛生用品の見直しが必要と考えるが、どうか。</p> <p><b>2. 子育て支援について</b></p> <p>鋸南町では、学校給食費無償化、国に先駆けての保育料の無料化、0歳から18歳までの子ども医療費助成など、様々な子育て支援を行っています。</p> <p>来年度から、学童保育所と幼稚園一時預かり保育所の運営が民間に業務委託されることが予定されています。</p> <p>そこで、4点質問します。</p> <p>① 鋸南町で学童保育所が設置された経緯と現状はどうか。</p>	笹生あすか	町長
			教育長

	<p>② 学童保育所と幼稚園一時預かり保育所、保育所運営における課題を町はどう認識しているか。</p> <p>③ 学童保育所と幼稚園一時預かり保育所の民間委託によって、どのような変化があるか。</p> <p>④ 学童保育所と幼稚園一時預かり保育所の時間延長、特に朝の預かり時間を早めて欲しいとの保護者の声が多いが、どうか。</p>		
7	<p><b>1. 鋸南病院について</b></p> <p>高齢化が進む当町において、医療を社会・町民のニーズに合った形で安定して提供できる体制を確立することは最重要課題といえる。</p> <p>町の医療の中心は、救急医療体制も整った国保鋸南病院だ。課題を明らかにし、町の医療提供体制の改善につなげたい。</p> <p>① 鋸南病院の在り方、運営方法など、どのように捉えているか。</p> <p>② 施設の建て替えや移設について検討しているか。</p> <p><b>2. 成年後見制度の利用促進に関する町の取り組み状況について</b></p> <p>少子高齢化や核家族化により地域住民同士のつながりが希薄化するとともに、高齢者や障害のある人は、親族が亡くなるなど身寄りを失うことで、社会的孤立状態に陥りやすいことから、権利擁護を必要とする人は増加傾向にある。</p> <p>成年後見制度は、認知症などの人に代わって財産の管理などを行う制度であり、権利擁護には不可欠な制度である。有識者らによる制度見直しも進められる中、当町の成年後見制度の取組目標・利用促進における課題をどのように捉えているか。</p>	竹田和明	町長
			町長